

陽の里

発行 平成10年8月1日



社会福祉法人 新生会
総合ケアセンター

サンビレッジ

No.65

テーマ ノーマライゼーションを求めて

normalization

高齢者や障害者などもすべて一緒に暮らす社会こそノーマルだという福祉のあり方についての主張



一泊旅行に参加して

利用者家族 多田 茂子

昨年十月十八・十九日と下呂温泉一泊旅行に参加し、丈夫な時には感じたことのない感動を受けました。下呂温泉に入浴し、飛騨牛の御馳走を食べ、合掌村の中を散策し、旅館ではボランティアの方の舞踏をみせてもらい、様々な介護に十分な人手をそろえての参加で、車の運転をされる方もさることながら、その至れり尽くせりにびっくりし、今思っても涙が出ます。主人の喜びようは格別で、先ず安心して車にのっていたこと。エンジンの音に合わせ調子をとっていました。

晴天に恵まれ、合掌村での時間、サービスイリアでの休憩、旅館での男性のヘルパーさん三人がかりでの入浴、食事もよくすすみ、夜もゆつくりできました。旅行等ということはもう諦めていましたが、こんな行事を計画・実行していただき、本当にありがとうございます。今年の年賀状には一泊旅行や運動会等の行事に参加も出来、幸せですと書きました。

心配してくださっている方々も喜んでくださいました。自分も年をとり力をなくした今、サンビレッジの皆様の御陰で、にこにこしている主人を見て、私も幸せです。

- ・ 車椅子 お前も乗るかよ 主人言い
- ・ 車椅子 かばんを持つよと ひざの上

社会参加

一泊旅行実行委員長 吉田江里

サンビレッジ新生苑では、その人がその人らしく生活を送っていただけるように、また、日々を楽しんで頂けるために、様々な企画をたてております。そのひとつに毎年、一泊旅行があります。

「あんな所へ行つてみたい」「のんびり旅行したいなあ」「もう一度行つてみたい」。生活する中で、それは誰もが思い描くことではないでしょうか。年をとつても障害をもつていてもそれは同じでしょう。しかし、心身が丈夫である時には気軽に旅行した旅行も、障害が生じてくると難しくなることが少なくありません。心身に不自由を抱えている旅行には、本人はもちろん家族にも、そして職員にも不安があり、勇気が要ります。最も大きな不安は、社会が受け入れてくれるかどうか、ということではないかと思えます。しかし、昨年の下呂温泉旅行では、ホテルも快く受け入れて下さり、また地元のボランティアの方々にも踊りを披露していただくなど地域のあたたかい協力を得ることができました。

”ノーマライゼーション“という言葉があります。この言葉は、障害者やお年寄りなど社会的に不

利を負う人々も皆同じ社会にいるのが当然とし、「障害をもつ人も一般市民として普通に生活していくことができる」という考え方をとしてデンマークで提唱されました。サンビレッジの理念もノーマライゼーションを根底としており、またそのような社会を目指してきました。そして、一泊旅行は本人や家族の思い出づくりのためはもちろん、ある意味では、社会参加“という、社会へのアピールでもあります。障害があつても、地域に住む誰もが気軽に外出できるように社会づくりにも役立てればと思えます。今後そのような機会のひとつとして、一泊旅行をつづけてゆきたいと思つております。



貴重な思い出

利用者家族 伊藤雅子

父がサンビレッジ新生苑でお世話していただくようになりましてから、早一年が過ぎました。この一年で何より驚いていることは、苑の行事の多いことです。特に秋は敬老の日、運動会、家族旅行、文化祭と目白押しで、そのどれを取つてみても職員の方々が本当によく準備してくださり、お年寄りと一緒に楽しんで取り組んでいらつしやるためか、活力に溢れ、いつも爽やかな気分にならせていただいております。お陰様で父もこの様な行事や、その他にもよく花を見にドライブに連れて行つていただいたりして、退屈せずにごせると喜んでおります。

特に十月に参加させていただいた下呂温泉への一泊旅行は、父と私にとつて貴重な思い出の一つとなりました。私の家には義父母がおります関係で、父を泊められませんが、このような旅行でゆっくり一夜を共に過ごすことができ、とても感謝しております。あと何回一緒に旅行に行けるかしらと思つていましたが、今回多数の車椅子の方や九十歳を過ぎた方も参加していらつしやるのを見て、ああまだまだ大丈夫、何かホツとした

様な気分が致しました。本当に職員やボランティアの方達は丸二日間付ききりのお世話でさぞ大変なことであつたらうと思えます。それも楽しそうに終始笑顔のうちにやつておられるのを見て、頭の下がる思いが致しました。

旅館では、ゆっくり温泉に入っていただし、お食事も美味しく、普段は食の進まない父がほとんど全部、いつもはスプーンなのに箸を使つていただけたのを見て、本当にびつくり致しました。やはり旅先ということもあつて、とても気分が良かったのだと思います。一日目心配したお天気も翌日は晴れ渡り、青空の下、下呂の合掌村を散策致しました。参加されたどのお年寄りの方も皆さんとてもお元気で解放感に溢れ、楽しそうに過ごされていきました。この様に素敵なお年寄りの方々や御家族、そして職員やボランティアの方と身近に接することが出来、本当に良かったと思えます。どうも有難うございました。



下呂温泉へ...

利用者家族 森 春代

十月十八日、天気恵まれ、体調も良く、期待と少しの不安の中、「私たち、初参加なのです」バスは出発。紅葉には、ちょっと早みたい。なつかしい町並、よく実った稲田をながめ、気分もだんだんうきうき。

話しかかれた頃、山形屋旅館に到着。途中、トイレ休憩、昼食などで、バスの乗降は、思った以上に大変でした。ヘルパーの方、ボランティアの方の、親身の手助け、やさしさに接し、出発の時の不安もふっとびました。気分も軽く、参加してよかったと皆様に感謝。

温泉にもゆつくり入り、親子水いらずでのんびりしたひとときを過ごしました。母の顔が一番やつやつやでした。

夕食も美味しくいただき、宴会も楽しい雰囲気、母の歌も初めて聞きました。以前とは違い、前向きな姿勢が見られ、これもホームの方々の、やさしさにふれたおかげと、心から嬉しく思います。

夜もぐっすり眠り、気分良く目覚め、今日も楽しく過ごせそう。記念写真も撮ってもらい、あとがたのしみです。

合掌村では、母の車椅子を押し

ながら、「あんなこともあった」「こんなこともした」と昔話のできる幸福を感じ、元気で長生きしてほしいと、心の中でつぶやきました。

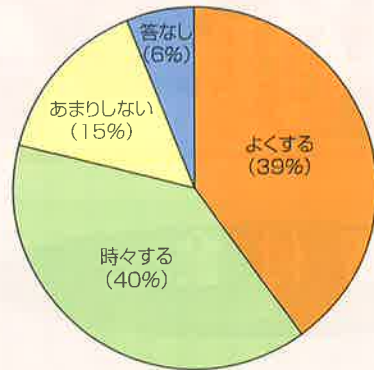
おみやげも、いっぱい買いました。心の傷つくことの多い中、皆様の心からのやさしさにふれ、「まだまだ世の中捨てたものじゃない」と思えたこと、私の一番のみやげです。今ふうの色にたとえたら、オレンジ色につつまれた二日間でした。

又、元気で皆様と旅行ができることを願い、心より感謝申し上げます。

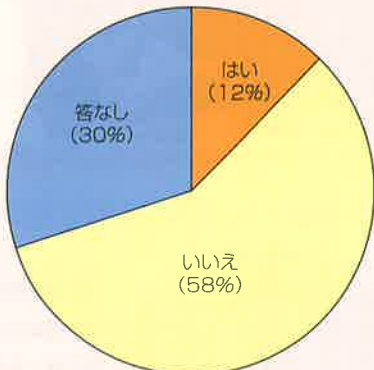


連載 家族評価アンケート(2)

Q 苑の行事には参加されますか？



Q 行事の立案・企画を職員と一緒にやってみたいと思いますか？



「生活は、季節と共にある」ホームを利用されるお年寄りは、施設の限られた場所だけでの生活では、季節感を忘れてしまうのではないだろうか…。人として寂しい事で

はないだろうか…。季節感のある行事という思いから、苑では様々な企画をしています。職員だけでなく、ボランティア、地域の方々にもお手伝いいただいておりますが、是非こういった機会に御家族の方とも一緒になって行事をつくりあげることができたら、お年寄りにとって楽しい、そして有意義な一日になるのではないのでしょうか。

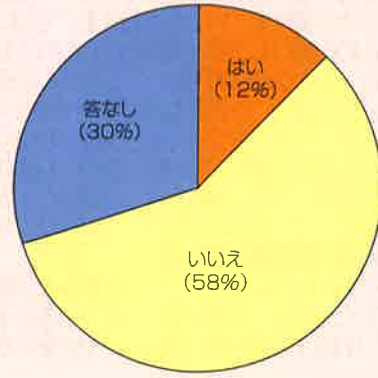
お年寄り一人ひとりに合った企画、楽しい企画、またご意見などお寄せください。

今後の行事

行 事	開 祭 日	担 当
盆踊り	8/22(土)	小 羽
家族交流会	9/15(火)替	勝 田
運動会	10/24(土)	中 村
文化祭	11/28(土)	清 水
クリスマス	12/19(土)	村 橋

その他日常生活のお世話(車椅子誘導、ストレッチャー誘導etc)
 ※開催日、2ヶ月前より企画など、受け付けています。是非ご参加をお願いします。
 ※担当者への連絡先 サンビレッジ新苑 0585-45-5545
 ・前回のアンケート集計グラフ。(人)ではなく(%)の間違いでした。(又、「施設の雰囲気はどうか」のグラフは、良い→71% 普通→24% 悪い→1% 答なし→4%でしたので)訂正させていただきます。

Q ボランティア活動に興味はありますか？



どんなボランティアをやってみたいですか？

- ◆ 食事、入浴介助
- ◆ タオル、衣類たたみ
- ◆ 衣類管理
- ◆ 行事等での移動介助
- ◆ 特定のものはないが、福祉について興味がある
- ◆ 自分にやれることはお手伝いしたい
- ◆ 何でもよい

ボランティア募集

★月曜～金曜 (PM)
入浴のストレッチャャー押し

★月曜～土曜 (AM・PM)
入浴のアフターケア (爪切り、ドライヤー)

★月曜～土曜 (昼・夕)
配食サービス

★曜日を問わず

整容(顔ふき、口すすぎ、整髪)

散歩、ドライブ

衣類たたみ

ヒマワリホールのレクリエーション

食事介助

昨年度は4,966人(一日平均14人)のボランティアの方にお世話になりました。利用者は、地域とのふれ合いを楽しむことで生き甲斐を見つけ、笑顔が見られます。たとえ短い時間でも、「何かやってみようか」と思ったら、ご連絡ください。

☎455545 担当 渡辺

寄付金

平成9年7月～平成10年3月

〈個人〉
栗山 翁
水野 孝治
平間 義孝
矢橋 浩吉
竹中 ユキ
河本
小林 良二
五十川てる
西山 幸子
河村 喜孝
田中 武夫
佐藤 尚一
宮川 助一
松岡 節子
赤松美代子
野原 文雄
坂口 一義

皆様のご厚志は福祉に役立させていただきました。ありがとうございます。

(敬称略)

〈団体〉
神戸町カラオケクラブ
河本石材
美濃加茂市子育て会
ハートケア松岡
清洲会
田口福寿会
名古屋社協
東信地区デイサービス協議会
石原美智子他職員9名講演料
新生会会員84名

平成九年度施設会計決算報告

